

政策分析シート（平成30年度）

政策名	利便性の高い都市基盤の整備	政策No	12	部名	防災都市づくり部
関連部名		部長名	松土	内線	2800
行政評価事業体系	分野	安全安心都市			

目的 荒川区は、都心に近接した立地と交通の利便性に恵まれていることから、近年、来街者や人口の増加も続いている。さらに、住みたい、住み続けたい街の実現を目指して、道路等の都市施設の整備、駅前再開発の推進、防災街づくりの推進、公共交通網の整備等を進め、防災性が高く、良好な住環境の市街地に改善する。

指 標	幸福実感指標名	指標の推移			指標に関する質問文		
		27年度	28年度	29年度			
	生活環境の充実	3.19	3.22	3.19	お住まいの地域が、バリアフリーの状況や交通の便、まちなみの良さ、快適さ等の点から総合して暮らしやすい生活環境であると感じますか？		
	防災性	2.28	2.31	2.30	お住まいの地域は災害に強いと感じますか？		
	交通利便性	3.91	3.88	3.88	お住まいの地域は交通の便が良いと感じますか？		
	まちなみの良さ	2.96	2.95	2.95	お住まいの地域のまちなみ（景観・緑など）は良いと感じますか？		
指 標	政策の成果とする指標名	指標の推移					指標に関する説明
		27年度	28年度	29年度	30年度見込み	目標値(38年度)	
	住環境条例の条例適合率（％）	100	100	100	100	100	適合件数 / 届出件数 計画時
	都市計画道路の整備率（％）	58.1	58.1	58.1	58.1	69.3	完成5,160m / 計画8,886m(平成29年3月未延長)
	コミュニティバスの乗車人員（人/日）	3,448	3,445	3,482	3,560	4,600	一日あたり
	市街地再開発事業の進捗率（全地区）（％）	76	76	76	76	100	各地区(日暮里、西日暮里、三河島、南千住、町屋)の平均

（単位：千円）

行政コスト計算書	勘定科目			行政収入	勘定科目		
	28年度	29年度	差額		28年度	29年度	差額
	給与関係費	302,502	301,915	587	地方税等	0	0
	物件費	145,353	144,717	636	国庫支出金	0	0
	維持補修費	27	1,307	1,280	都支支出金	6,154	5,016
	扶助費	0	0	0	分担金及び負担金	0	0
	補助費等	5,215	18,723	13,508	使用料及び手数料	24,734	24,115
	減価償却費	86,363	86,480	117	其他行政収入	9,369	26,291
	不納欠損・貸倒引当金繰入額	0	0	0	行政収入合計(a)	40,257	55,422
	賞与・退職給与引当金繰入額	12,318	43,028	30,710	行政収支差額(a)-(b)=(c)	523,905	588,997
	其他行政費用	12,384	48,249	35,865	金融収支差額(d)	666	555
	行政費用合計(b)	564,162	644,419	80,257	通常収支差額(c)+(d)=(e)	524,571	589,552
	特別費用(g)	0	11,757	11,757	特別収入(f)	0	0
	特別収支差額(f)-(g)=(h)	0	11,757	11,757	当期収支差額(e)+(h)	524,571	601,309
							76,738
貸借対照表	勘定科目			勘定科目	勘定科目		
	28年度	29年度	差額		28年度	29年度	差額
	流動資産				流動負債	27,091	28,639
	収入未済	0	0	0	還付未済金	0	0
	不納欠損引当金	0	0	0	特別区債	6,624	6,737
	その他の流動資産	0	0	0	賞与引当金	15,077	16,512
	有形固定資産	6,001,735	5,943,020	58,715	其他流動負債	5,390	5,390
	土地	4,361,986	4,361,986	0	固定負債	257,584	269,730
	建物	507,247	507,247	0	特別区債	27,647	20,910
	建物減価償却累計額	282,820	296,613	13,793	退職給与引当金	213,767	238,040
	工作物等	2,050,356	2,076,135	25,779	其他の固定負債	16,170	10,780
	工作物等減価償却累計額	635,033	705,735	70,702	負債の部合計	284,675	298,369
	無形固定資産	0	0	0	正味財産	5,756,476	5,670,324
	建設仮勘定	11,757	0	11,757	正味財産の部合計	5,756,476	5,670,324
	其他の固定資産	27,659	25,673	1,986	負債及び正味財産の部合計	6,041,151	5,968,693
	資産の部合計	6,041,151	5,968,693	72,458			72,458

財務諸表に関する特徴的事項等

再開発事業やコミュニティバス運営、放置自転車対策等の事業を行っており、自転車駐車場管理の指定管理料を含む物件費が約2割を占めている。

政策の現状・課題・今後の方向性

現状	<p>都市計画道路については、平成19年度に補助306号線、平成22年度に補助107号線の整備が完了以降、整備率58.1%に変動はない状況である。</p> <p>三河島駅前北地区については、周辺に密集市街地があり、また旧真土小学校を含めて低・未利用地が比較的多いなど、地域の防災性や駅前の賑わいが不足している。また、西日暮里駅前は、区内有数の交通結節点でありながら、駅前の快適性向上や賑わい創出に寄与する整備が行われていない。</p> <p>区民の意向に基づいて進められる区民の手によるまちづくり活動に対して支援を行っている。</p>
課題	<p>都市計画道路の整備にあたっては、土地所有者等関係権利者の理解を得るとともに、既存道路との接続による交通への影響等を考慮しながら進める必要がある。</p> <p>三河島駅前北地区については、大部分が木造住宅密集地域であり、細街路やオープンスペースの整備、老朽建築物の建替え等を推進し、地域の防災性向上を図る必要がある。また、西日暮里駅前については、地区全体としての賑わいを創出するため、区民のみならず区外の人も利用しやすい交流施設や商業施設、防災拠点となるオープンスペース等を整備する必要がある。</p> <p>区民の意向に基づく地区計画の都市計画決定を進める必要がある。</p>
今後の方向性	<p>都市計画道路の整備にあたっては、関係権利者への丁寧な対応を行うとともに、交通管理者や鉄道事業者等と調整を図りながら、より安全で機能性の高い道路の整備を図り、都市の基盤づくりを着実に進めていく。</p> <p>再開発による拠点整備を進め、多様な都市機能が集積した、にぎわいのある市街地を形成していく。</p> <p>今年度内での地区計画の都市計画決定に向けてまちづくり協議会及び関係機関等との協議・調整を行う。</p>

政策を構成する施策の分類

施策名	政策推進のための分類		分類についての説明・意見等
快適な市街地環境への誘導	推進	推進	区の都市計画マスタープランに基づき、秩序ある街づくりを進め、快適な市街地環境整備を誘導していく。
都市計画道路の整備	重点的に推進	重点的に推進	都市計画道路の整備は、街の防災性向上等の観点から、優先順位を定めて計画的に推進していく。
交通環境の整備	重点的に推進	重点的に推進	交通機関の充実や交通不便地域における利便性の向上、及び快適な道路環境の整備を推進していく。
市街地再開発事業等の推進	重点的に推進	重点的に推進	各地区で策定したまちづくり構想に掲げる将来像を実現するため、再開発を推進する必要がある。